

2019 サンゲツ 新作展示会 視察レポート

サンゲツ様の「新作展示会」に行ってきました。

新作展示会は、10月1日(火)、2(水)の二日間、東京・品川ショールームでの開催を皮切りに、11月15日(火)までの期間中、全国7都市で催される展示会であります。展示のメインは、壁装材「リアテック」と床材「フロアタイル/OTタイル」、両方とも今年10月に発売される商材とのこと。あと、来春発売予定のガラスフィルムと椅子生地ファブリックも先行展示されているというものです。

今回 私は 10月2(水)、品川ショールームでの視察に参加させていただきました。

では、視察させていただいた順にレポートいたします。

まずは展示会場入口に燦然と、しかしながら品の良い素敵な案内表示。その前にはサンゲツの役員様、支社長様が出迎え挨拶のため立っておられましたが、横にずれていただき写真を撮らせていただきました。(感謝)

その後、名刺交換もさせていただき、ご挨拶や市場動向などの話し合い等々。

まずは、壁装材「リアテック」の展示スペースへ。



本展示は、イビケン(株)の「イビボード(IBIBOARD)」と(株)サンゲツの粘着剤付化粧フィルム「リアテック(REATEC)」の同柄コーディネートを提案されるものです。

商品ネームには、珊瑚・花染・篠葉・霧立・白繭など、色、柄、テクスチャー等自然の造形や美しさを表現されている、落ち着いた意匠性の素晴らしいものでした。

次ページにも3枚ほどの画像を掲載いたします。

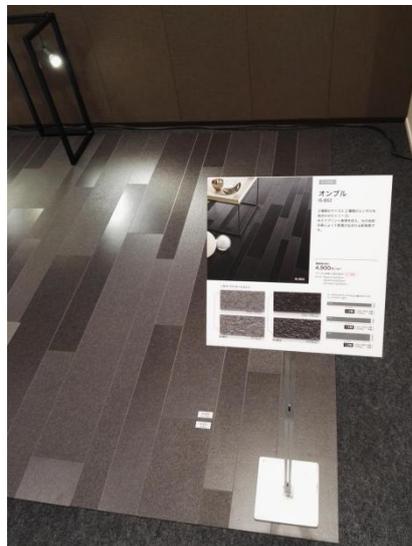


つぎは、床材「フロアタイル／OTタイル」のコーナーです。

OTタイルは、全点ワックスフリーコーティング仕様の置敷き帯電防止ビニル床タイルです。

エイジドマテリアルの質感を持たせたものや従来にはなかったアイデアとデザインが豊富に詰められたフロアタイルでした。

また、素材と質感、新感覚のタイルサイズ、異なるエンボスを組み合わせたものなど、アンティークの魅力を追求しようとされる意図を感じさせられるものでもありました。



メイン展示のレポートは以上ですが、来春発売予定の 不燃認定壁紙『FAITH』、ガラスフィルム、椅子生地 UP 等も先行展示されていました。

今回の展示会のメインコンセプト『自然の輪郭』、それは natural であり、aging、品の良い shabby chic でもありました。 商業空間に、また、都市型住空間にも向けて、インテリアコーディネーターとして、ご提案の幅が広がる商材だと感じ入りました。今回は、サンゲツ様の製品を理解させていただくための貴重な機会を持たせていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

記：谷本 正明